

地域密着型サービスの自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の理念を作り上げている。	利用される方が、その人らしく、心豊かに生活が出来る様、職員が一丸となって依り良いケアが出来る様取り組んで行きたい。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を共有し、理念の実践に向けて取り組んでいる。	運営理念をホームの見やすい所に掲示し、管理者及び職員は、理念を念頭に置き依り良いケアが出来る様取り組んで行きたい。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	家族の方へは入所契約の際、契約書及び重要事項説明書等と同時にホームの運営理念を説明し、理解して頂ける様取り組んでいる。	○ 地域の方々への理解が不十分と思われる為、施設の方針、内容を理解して頂ける様努力していきたい。
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	職員が利用者と共に散歩等に出かけた時は、近隣の方々やすれ違った方等に気軽に挨拶を交わす様にしています。	○ 施設が5月に転居した為、近隣の方々との交流が上手く図れていない。今後は地域の行事等に積極的に参加をし、地域の一員として気軽に話しかけて頂ける様取り組んで行きたい
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	5月に転居した為、現在は実施されていない。	○ 地域の一員となれる様、地域活動に参加し、地域の人々と交流が出来る様に努める。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	現在は実施されていない。	○	今後地域の高齢者の暮らしに役立てるよう話し合い、地域へ貢献して行ける様な事業所にしていきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価、外部評価を通じ、評価を活かし、依り良い施設サービスを行って行ける様、改善に取り組んでいる。		常に前向きな姿勢で取り組んで行きたい。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回実施されており、その中で現状の報告、取り組み等の意見交換を行いサービス向上に活かしている。		今後も継続し、サービスの向上につなげて行きたい。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	連携をとりながらサービスの質の向上に取り組んでいる。		市町村と共に更なる連携が図れ、サービスの向上に努めたい。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	必要な人には活用出来る様にしている。		必要時は活用できるよう支援していく。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会は今現在設けていないが、利用者の自宅や事業所内での虐待を見過ごさない様細心の注意を払っている。		今後は高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を作り、虐待を「作らない、見過ごさない」を念頭に置き支援を行っていく。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> <p>契約時や解約時は、本人や家族から、心配や不安等を聴き、十分な説明を行い理解、納得をして頂き安心して利用して頂ける様心がけている。</p>		面会時や電話があった時は施設での様子を伝えていく。現在の様子を伝え、様態によっては家族と相談を行う事により、家族が安心して任せられる施設である様、今後も職員全員で取り組んでいきたい。
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> <p>意見箱の設置を行い、苦情や意見があれば随時対応を行える様になっている。苦情や不満等が寄せられた時は、職員間や管理者、施設長と話し合い、問題解決に努める。</p>	○	常に職員間の情報交換を行い利用者、家族が安心でき、喜ばれる援助をしていきたい。
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p> <p>各職員に担当の利用者を決め、家族への連絡等は担当職員が行っている。面会時や電話での個々に合わせた報告は行っているが、職員の移動や定期的な報告は行っていない。</p>	○	今後は施設便り等の発行を行い、定期的な報告ができる様にする。
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> <p>家族の意見や不満等が判明した場合は職員、管理者、施設長と話し合い、その問題解決に努める。</p>	○	家族が意見、不満、苦情を言い易い環境を作り、何時でも声を掛けられる雰囲気職員全員が心がける。
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p> <p>月に1回運営者、管理者、全職員が依り良い介護に向けてのミーティングを行っているが、運営者の参加が少ない。</p>	○	運営者の参加を増やし、職員の意見や提案に耳を傾けて欲しい。
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p> <p>柔軟な対応を心掛けてはいるが、現状としては勤務調整等はまだまだ出来ていない。</p>	○	必要な時間帯の人員確保ができる様運営者に働き掛けているが、現在の所実施されていない。今後も継続して人員が確保され、柔軟な対応が出来る様働き掛けて行く。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	されていない。 利用者や職員の意向は取り入れて貰えない事が多い。	○	利用者が穏やかに生活出来る様な体制作りが出来る様話し合っていく。
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修会等に参加を奨励し、意識の向上が図れる様にしている。		職員のレベル向上の為に、今後も継続して行きたい。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	ブロック会に参加する事により同業者との交流が図れ、勉強会や、情報交換を行っている。		今後も継続し、サービスの向上につなげて行きたい。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	現在の所されていない。逆にストレスの材料を増やしている。	○	運営者と会話する機会が殆んどない。今後は出来るだけ時間を作って頂きたい。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	努力が報われない。 方針が一定していない為、管理者や職員は不安感が大いにある。	○	方針を一定させ、職員等の話し、意図を知って欲しい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所相談時～面接、入所時、入所後に本人と会話をしながら信頼関係を作れる様心掛けている。	今後も会話を通して信頼関係が続けられるよう心掛けていきたい。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人、家族との会話から今一番困っている事や心配、不安等を聴き、対応する事により安心して頂いている。	今後も引き続き、面会時や電話で施設での様子を伝えることによって安心して頂ける様にする。
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や家族の状況や今後について支援センターや担当ケアマネとの情報交換を行い最良の支援策を話し合っている。	今後も情報交換を行い、最良の支援が継続出来る様にしていきたい。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人に関わる事柄で声かけを行い、より親近感を持って頂ける様になっている。又、他利用者と早く馴染める様職員が声掛けを行っている。	○ 他利用者と少しでも早く馴染める様声掛けを継続して行く。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	共に会話をする時間を作り、昔の生活や思い出話し等から学んだり、支えあったりしている。	昔の生活や知恵などを教えて貰える機会が作れる様心掛ける。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	誕生会や行事などを行う時は、家族に参加して頂ける様連絡をし、交流が図れる様努めている。		本人及び家族との交流の場を提供できる様継続して行きたい。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会に何時でも来て頂ける様な環境を作り、家族が気軽に交流が図れる様にし、面会の際には利用者の生活状況などを伝えている。		家族、本人から喜ばれているので今後も継続したい。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	なじみの場所等についてお話をすることはあるが、実際に訪問する事は殆んど無い。	○	本人にとってのなじみの場所への訪問などの機会を今後は取り入れて行きたい。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	トラブル等が起きない様、個人の状態を把握し、お互いに良い関係を保つ為に、食卓の配置等を配慮している。	○	今後も個人の状態を把握し、利用者間の関係を注意して見守って行き、利用者同士が支えあえる様支援を行う。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	現在は該当者がいない為実施されていない。	○	必要であれば何時でも対応出来る様にしたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人と会話する事で細かな希望や意向を聞き取れるようにしている。	引き続き、本人と会話をすることで暮らしに対する細かな意向や希望を聴いて行きたい。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所をされてから、ご家族や今までに関わってこられた他事業者から情報収集を行い把握している。	入所される前に十分な話し合いを持ち、その人を十分把握できる様にしたい。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	毎日の健康チェックや状態の観察、言動の観察を行い把握している。	○ 本人の状態把握をケアスタッフそれぞれが行い、情報交換することでより本人を知ることが出来る様にして行きたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人はもとより家族やケアスタッフとの話し合いのもと、介護計画書を作成している。	積極的な意見の交換により、依り良い介護計画書の作成に取り組むたい。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	職員の人手不足により即新たな計画作成に取り組めない事がある。計画以前にサービスが先行する事がある。	○ ケアマネージャーが計画作成に際し、柔軟に動ける勤務体制の確保をしてもらい、即対応出来る様にして頂きたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録に関し、実践の記録のみになっている為、介護計画の見直しに活かされていない所もある。	○	記録に関し、より具体的に問題や課題を意識した記録の仕方に移行して行きたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	現在の所グループホームのみでの対応となっている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営委員会の設置により、地域の民生委員等と協力しながら支援している。	○	今後、警察、消防、文化・教育機関等に周知して貰える様な活動をして行きたい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人や家族からは他のケアマネやサービス事業者の利用の意向は無く、サービスの支援は行っていない。	○	必要があれば行って行きたい。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営委員会の設置により、地域の包括支援センターと協働している。権利擁護については、必要な時は話し合いの場を持つ準備は出来ている。		今後も本人の意向や必要性があれば、地域包括支援センターと協働して行きたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		<p>かかりつけ医との協働は継続して行っていけるようにしたい。</p>
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	○	<p>認知症専門医に受診できる様対応していきたい。</p>
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		<p>看護職員だけでなく介護職員も利用者の健康管理について積極的に支援して行く。</p>
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	○	<p>入院中の対応についてどの様にしたら良いか病院関係者と協議していきたい。</p>
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		<p>特に重度化していない利用者に関しても同じように方針を立てていく様にしたい。</p>
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	<p>今後に備え、家族やかかりつけ医と共に準備を行ってきたい。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	転居により認知症の進行が見られた。	○	本人の状態把握をケアスタッフそれぞれが行い、情報交換することでより本人を知ることが出来る様にし本人のダメージ減少に努めたい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個々の性格等も考慮した言葉掛けで対応している。		言葉掛けには十分に注意した対応を今後も継続して行く。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人の会話の中で聞き出せる様心掛けている。		これからも何気ない会話の中から、本人の気持ちを汲み取れる様にして行きたい。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	出来る限り本人のペースに合わせている。	○	無理強いせず、本人の気持ちを大切にし、聴いて支援をして行きたい。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	その人らしい身だしなみやおしゃれ等がし易い様にしてている。又美容院等も本人の希望があれば、対応が出来る範囲で行っている。		これからも本人に楽しんで頂ける様支援を行っていく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節感を感じる食材の準備ができない。一緒に作る作業が出来る状態ではない。下膳や片付けは手伝って頂いている。	○	季節感を味わえる料理を提供できる様にしたい。又利用者と一緒に料理を作る楽しみが持てる様にしたい。
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	味付けされた食品が一括納入されている為、個々に合わせた提供は出来ていない。お酒等の嗜好品の提供もされていない。	○	施設で作る事により味付けの調整も出来るので手作りを提供出来る様にしたい。又お酒等の嗜好品もせめて行事の時位は提供出来る様にしたい。
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	1人ひとりの排泄パターンを把握しており、さりげなく声掛けなどを行っている。		今後も継続して行きたい。
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	出来る範囲で行っているが、職員の手が足りず都合で決めざるおえない時も多々ある。	○	職員の補充を早急に行って頂き、利用者が入浴を楽しめるよう支援をして行きたい。
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日中適度な運動などを取り入れ、穏やかに過ごして頂き、安眠できる様心掛けている。	○	本人の体調等様子を見ながら、安眠、休息が出来る様支援して行きたい。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	毎日の生活が楽しく穏やかに過ごして頂ける様心掛けている。		本人のやりたい事、楽しみたい事が出来る様、今まで以上に支援して行きたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しているが、事務所で一括して管理している為、支援されていない。	○	決まった金額を渡し、本人が自分で、選ぶ楽しみを持てるように支援して行きたい。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日の散歩や買い物等を日々の生活に取り入れている。	○	買い物等に行く機会が少ない。一緒に出かける機会をもっと増やし楽しみが持てる様にしたい。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	季節毎に遠出する機会を設け、家族も参加できる様連絡をしている。	○	季節感を味わいながら、家族と共に過ごせる時間を作りお互いに交流出来る様、今後も継続して行きたい。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	年賀状や暑中見舞い等の葉書を送る様にしている。	○	現在の所本人から電話をする機会がないので、今後は声の便りも出来る様支援を行って行きたい。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家庭的な雰囲気作りを心掛けているので、急な訪問でも皆でお話をされ笑顔で過ごせる様にしている。		今の雰囲気を大事に継続したい。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全職員は、やむをえない場合を除いて、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		今後も、勉強会等を行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいく。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	○	常に鍵をかけなくても良い様な環境を作って行きたい。
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		今後も安全に配慮した支援を継続して行きたい。
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		環境の整備を行い、常に危険を回避できる様、職員全員で話し合っていく。
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>		1人ひとりの状態を把握し、継続して事故防止に取り組んで行きたい。
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	○	外部から講師を招き、職員の意識を高めて行きたい。
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	○	避難訓練を検討中。 地域の人との交流を深め、協力が得られる様働き掛けて行きたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	入居時や家族の面会時等に、施設での様子を伝え起こり得るリスクについての対応策等を常に話し合っている。		継続して行きたい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	申し送りノートの活用。及び体調の変化が見られた時はノートに記入、口頭での申し送りをを行い周知徹底を図っている。		今後も継続をして行く。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬情ファイルを作成し、薬の変更があった時はその都度申し送りノートに記入し、口頭でも伝える様になっている。		職員全員が薬についての理解を深め、服薬の支援と症状の変化の確認に努めて行きたい。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎朝の体操や、乳製品、寒天等を取り入れ予防と対策に努めている。	○	毎朝の体操や、乳製品、寒天等を取り入れ予防と対策に努めて行きたい。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、1人ひとりの口腔状態や能力に応じた支援を行っている。ブラッシングが出来ない利用者には殺菌作用がある食品でケアを行っている。		今後も継続して行きたい。
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	起床時、毎食後、おやつ時、入浴後など水分量が確保出来る様にしている。又摂取が難しいときは代替品として牛乳や寒天を使い確保出来る様支援している。		一人ひとりの状態や力、習慣に対応できる様細やかな観察を行い支援して行きたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	一人ひとりの状態を常に把握し、感染症予防に留意している。オムツ交換時等は手袋を着用するなど特に気を付けている。		職員一人ひとりが感染予防を意識した行動が取れる様にして行く。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	賞味期限等に気をつけて使用している。調理用具等の衛生管理を職員それぞれが細心の注意を払い使用、管理を行っている。		今後も食材の管理をしっかりと行っていく。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	何時でも声かけられる様にしてている。利用者と共に花を植えたり、野菜を作ったりしている。	○	転居して間もないので近隣の方とはまだ交流ができていない。今後は気軽に声をかけられる様にして行きたい。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節毎に皆さんで作られた貼り絵等を展示している。洗面所と脱衣所が一緒なので入浴の際はカーテンで見えない様工夫している。		皆の意見を取り入れながら、居心地よく過ごせるような工夫をして行きたい。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人ひとりのお部屋で過ごせる様な場所の確保は出来ている。また気の合った人同士での過ごせる場所もある。		希望を聴きながら対応できる工夫をして行きたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	本人が馴れ親しんだ物や、気に入っている品物を 置き、本人が居心地良く過ごせる様にしている。		今後も家族と相談し、本人が居心地良く過ごせる 様な工夫をして行きたい。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	気になるにおいや空気のだよみが無い様気をつけ ている。温度調節は状態を見ながら行っている。		今後も利用者の状況に配慮しながら継続したい。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	手摺は利用者の身体機能に合わせるのであれば不 足している。娯楽室の椅子も利用者にとっては危 険に値する時もある。	○	利用者の身体機能を考慮した環境整備が出来る様 話し合っ行って行きたい。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせる様工夫はし ている。		混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせる様工夫はし ているが、まだまだ足りない部分がある為、もっ と取り組む必要がある。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	花壇や菜園での収穫を楽しみにされている。		利用者の方々が楽しみを持てる様取り組んで行き たい。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)